

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成23年度 (2011年度)		授業科目	法学
科目基礎情報						
科目番号	0032		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教科（平成25年度以前入学生）		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	アクセス法学（嵯峨野書院）					
担当教員	今田 浩之					
到達目標						
1. 法規範の特質、法分類、裁判手続の基本について説明できる。 2. 憲法の基本的人権論、司法審査理論について説明できる。 3. 民法、刑法などの原理・制度・運用について説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	法規範の特質分析や法分類の意義、裁判手続における立証責任の意義について説明できる。		法規範の特質、法分類、裁判手続の基本について説明できる。		法規範の特質、法分類、裁判手続の基本について説明できない。	
評価項目2	憲法の基本的人権論に関する判例の意義と課題を説明できる。		憲法の基本的人権論、司法審査理論について説明できる。		憲法の基本的人権論、司法審査理論について説明できない。	
評価項目3	民法、刑法などの原理・制度・運用について説明できる。		民法、刑法などの原理・制度について説明できる。		民法、刑法などの原理・制度について説明できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	この科目では、具体的な法文や訴訟判例を素材に、現行法の制度・運用について検討し、各自が法的思考能力を身に付けることを目標とする。					
授業の進め方・方法	授業では、先ず、「法学基礎論」で法学の基礎的知識や方法論を学び、次に「法学各論」で各法分野につき、制度や運用に関する具体的な法文や訴訟判例の検討を通じて、法的思考方法を習得する。					
注意点	日常的に、様々な現実社会の問題について、法的観点から考えてみるようにして下さい。 新しい立法や裁判の動向、権利や自由に関する時事的な話題にも積極的に目を向けましょう。					
授業計画						
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標	
		1週	法とは何か		社会規範としての法の特徴、法の諸分類について説明できる。	
		2週	法とは何か		社会規範としての法の特徴、法の諸分類について説明できる。	
		3週	法の解釈		法の解釈技術について説明できる。	
		4週	法の解釈		法の解釈技術について説明できる。	
		5週	裁判の構造		裁判手続の基本的構造、立証責任について説明できる。	
		6週	裁判の構造		裁判手続の基本的構造、立証責任について説明できる。	
		7週	裁判の構造		裁判手続の基本的構造、立証責任について説明できる。	
	2ndQ	8週	憲法の基本的人権保障		基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。	
		9週	憲法の基本的人権保障		基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。	
		10週	憲法の基本的人権保障		基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。	
		11週	憲法の基本的人権保障		基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。	
		12週	民法		債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		13週	民法		債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		14週	民法		債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		15週	民法		債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
	16週					
後期	3rdQ	1週	民法		債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		2週	消費者保護法		特定商取引法、消費者契約法などについて説明できる。	
		3週	消費者保護法		特定商取引法、消費者契約法などについて説明できる。	
		4週	消費者保護法		特定商取引法、消費者契約法などについて説明できる。	
		5週	製造物責任法		製造物、製造業者、欠陥責任などについて説明できる。	
		6週	製造物責任法		製造物、製造業者、欠陥責任などについて説明できる。	

		7週	製造物責任法	製造物、製造業者、欠陥責任などについて説明できる。
		8週	刑法	罪刑法定主義、犯罪成立要件、刑罰などについて説明できる。
	4thQ	9週	刑法	罪刑法定主義、犯罪成立要件、刑罰などについて説明できる。
		10週	刑法	罪刑法定主義、犯罪成立要件、刑罰などについて説明できる。
		11週	刑事訴訟法	適正手続原則、刑事手続の全体構造などについて説明できる。
		12週	刑事訴訟法	適正手続原則、刑事手続の全体構造などについて説明できる。
		13週	労働法	労働基準法、男女雇用機会均等法などについて説明できる。
		14週	労働法	労働基準法、男女雇用機会均等法などについて説明できる。
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100	
基礎的能力	60	0	0	0	20	0	80	
専門的能力	10	0	0	0	10	0	20	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	